

大竹駅周辺地区 バリアフリー基本構想(案)

概要版

大竹市 建設部 土木課

目次

1. 基本構想の概要
2. 大竹駅の現況と課題
 - 主要施設の分布状況
 - 大竹駅周辺のバリアフリー状況
 - 上位・関連計画の整理
 - バリアフリーに関する課題の整理
3. 移動等円滑化に関する基本方針
4. 重点整備地区の区域設定
5. 移動等円滑化の整備方針
6. 実施すべき特定事業及びその他の事業

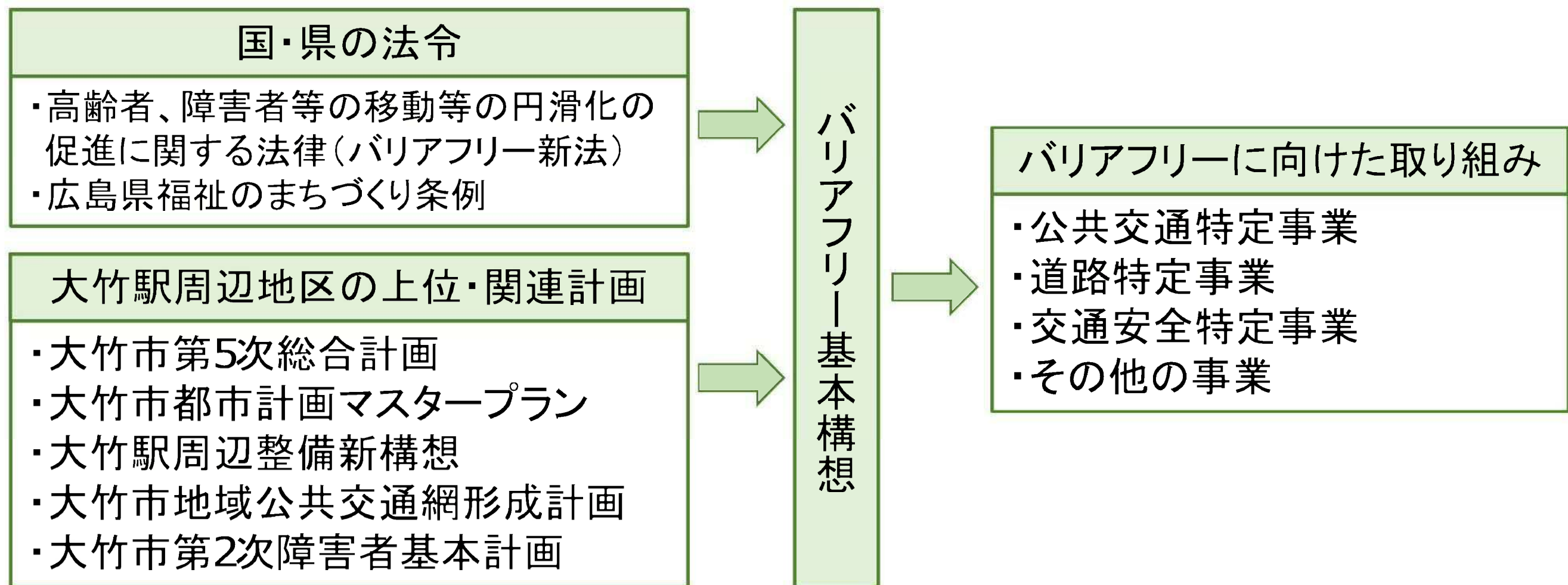
1. 基本構想の概要

【策定の目的・基本構想の位置づけ・目標年次】

➤ 策定の目的

バリアフリー新法(H18.6制定、R2.5改正)に基づき、基本構想を策定し、重点整備地区や特定事業を定めることにより、**公共交通機関・道路・建築物などの面的かつ一体的なバリアフリー整備を推進**

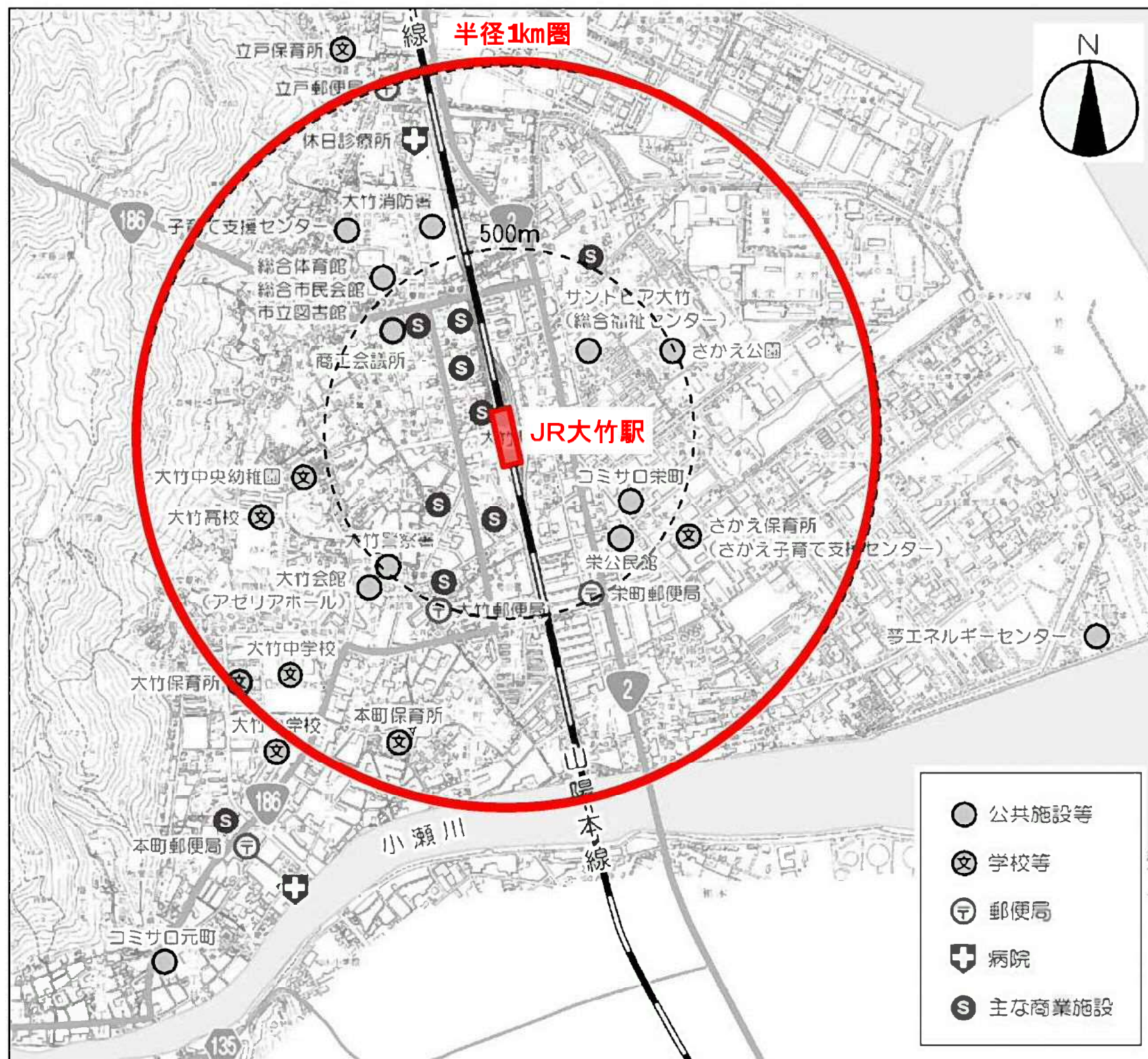
➤ 基本構想の位置づけ



➤ 目標年次：2025年(令和7年)

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【主要施設の分布状況】



＜大竹駅西側地域＞

総合市民会館や市立図書館など主要な公共施設や、保育所、幼稚園、小・中・高校などの学校施設が立地

＜大竹駅東側地域＞

サントピア大竹(総合福祉センター)やさかえ公園が立地



**これらの主要施設の多くは、
JR大竹駅を中心に
概ね半径1kmの範囲内に立地**

(資料：大竹駅周辺整備新構想)

図：大竹駅周辺の主要施設位置図

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【大竹駅周辺のバリアフリー状況(道路空間)】

- 自転車歩行者専用道路が一部存在する。
 - 幹線道路は、車イス同士がすれ違える幅員2mの歩道が設置されている。
 - 一方、歩道が整備されている道路においても、**一部の箇所では段差が見られる。**
 - 点字ブロックや音響信号が設置されている路線も存在するが、**連続性が確保されていない。**
 - 歩道未設置区間の一部では、カラー舗装化されている。
 - 水路の蓋掛けのされていない路線が、多数存在している。
- ⇒ **特に市道北栄南栄1号線は、幅員が狭く、比較的交通量も多いため危険な区間となっている。**



自転車歩行者専用道路
(市道西栄東栄1号線)



自転車歩行者専用道路
(郷水第2踏切南側地下道)



点字ブロック
(市道駅前油見線)



カラー舗装
(市道西栄本町1号線)



水路蓋掛けなし
(市道北栄南栄1号線)

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【大竹駅周辺のバリアフリー状況(公共交通)】

1) 鉄道

【JR各駅のバリアフリー施設整備状況】

- 市内を南北方向に走るJR山陽本線の周辺駅(広島駅～岩国駅)では、改札やホームへアクセスするエレベーターが、大部分の駅で設置されている。
- 一方で、1日平均利用者数が5,000人以上である西広島駅や新井口駅、**大竹駅**では設置されていない。

【JR大竹駅のバリアフリー状況】

- 出入り口～改札口、改札口～1番のりば(宮島口・広島方面) ⇒ 段差なし
- 改札口～3番のりば(岩国・柳井方面) ⇒ **階段のみ**
- 点字ブロックは、駅構内及び出入り口(階段を除く)、及び県道接続部まで設置済み



2. 大竹駅周辺の現況と課題

【大竹駅周辺のバリアフリー状況(公共交通)】

2) バス

- コミュニティバス（こいこいバス）は、バリアフリー対応の車両導入済
- 路線バスは、一部区間においてバリアフリー非対応の車両で運行

表：大竹市内を運行するバスの低床車両導入状況

路線名	運行事業者	バス種別
路線バス（大竹・栗谷線）	(有) 大竹交通	ワンステップバス
路線バス（坂上線）	(有) 大竹タクシー	ノンステップバス (車イス対応)
コミュニティバス (こいこいバス)	(有) 大竹交通 (有) 大竹タクシー	ノンステップバス (車イス対応)



路線バス（坂上線）



コミュニティバス（こいこいバス）

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【大竹駅周辺のバリアフリー状況(公共施設)】

- 駐車場、廊下等の移動やトイレなど、ほとんどの設備でバリアフリー対応
- 案内板などバリアフリー対応となっていない設備も存在

表：主要公共施設バリアフリー状況（抜粋）

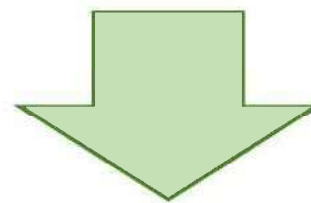
内容		大竹市役所	市立図書館	総合市民会館	大竹会館	サントピア大竹
駐車場	車椅子利用者駐車区画の数	3	2	2	1	1
敷地内通路	幅（120cm以上）	-	145cm	150cm	116cm	200 c m
	傾斜路の有無	×	○	○	○	○
外部出入口	幅（内のり80cm以上）	180 c m	160cm	140cm	169cm	180cm
廊下	幅（120cm以上）	200 c m	160cm	278cm	211cm	-
	傾斜路の有無	○	-	○	-	-
階段	まわり階段としないこと	○	○	○	○	×
	手すりの有無	○	○	○	○	○
昇降機	昇降機の数	2	1	1	0	2
共同トイレ	車椅子利用者便房の数	4	1	3	1	8
案内板	案内板の有無	○	×	×	○	○

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【上位・関連計画の整理】

大竹駅周辺地区の上位・関連計画

- ・大竹市第5次総合計画(H23.3)
- ・後期基本計画(H28.3)
- ・大竹市都市計画マスタープラン(R1.10)
- ・大竹駅周辺整備新構想(H24.2)
- ・大竹市地域公共交通網形成計画(H31.3)
- ・大竹市第2次障害者基本計画(H30.3)



バリアフリー基本構想

2. 大竹駅周辺の現況と課題

【バリアフリーに関する課題の整理】

①大竹駅自由通路・橋上駅舎化及び東口広場整備に伴うバリアフリー整備

- 大竹駅周辺整備事業により、駅東側方面の市街地化が促進されることが予想
- 大竹駅から東側方面の生活利便施設へのアクセス増加に対応した整備が求められる。

②利便性・快適性向上のための公共交通の整備

- 大竹駅に発着するバスでは、一部区間においてバリアフリー非対応の車両で運行
- 大竹駅についても改札口からホームへの昇降機が未設置である
- 公共交通のバリアフリー化により、高齢者や障害者等の利便性を高めていくことが望まれる。

③主要な公共施設や生活利便施設でのバリアフリーの向上

- 主要公共施設では、廊下等の移動やトイレなど、ほとんどの設備でバリアフリー対応
- 案内板などバリアフリー対応となっていない設備も存在
- 主要な公共施設だけでなく、生活利便施設バリアフリー化が求められる。

④安全・快適に利用できる歩行者空間の形成

- 歩道は主要道路に設置されているが、一部途切れていたり、段差がみられるなど課題は多い。
- 点字ブロックや音響信号は部分的に設置されているものの連続性がない
- バリアフリーに対応した連続性のある歩行者空間の形成を行っていく必要がある。

⑤誰もが優しくサポートできるまちづくり

- バリアフリーのまちづくりを実現するためには、ハード面の施設整備だけでなく、市民一人ひとりが助けあいの精神を持つ環境づくりを行うことが必要である。
- バリアフリーに関する啓発・広報活動・福祉教育の取り組みを通じて、ボランティア意識を高め、誰もが高齢者や障害者等に対して優しくサポートできる「心のバリアフリー」の社会を実現していく必要がある。

3. 移動等円滑化に関する基本方針

①大竹駅周辺のバリアフリー化の推進

- 大竹駅構内及び東西移動の円滑化を図ることで、すべての人が快適に利用できる大竹駅を形成する。さらに、大竹駅と接続するバスなどの他の公共交通においても、バリアフリー化を推進し、シームレスな交通体系の構築を図る。

②主要な生活関連施設のバリアフリー化の推進

- 大竹駅から徒歩圏内にある主要な公共施設や生活関連施設のバリアフリー化を推進し、誰もが暮らしやすいまちの実現を図る。

③安心・快適に移動できる連続的・面的な歩行空間の確保

- 大竹駅と周辺の生活関連施設を結ぶ区間・エリアにおいては、歩道の段差解消や点字ブロック・音響信号の設置など、歩行者が安全で快適に移動できるよう連続的かつ面的なバリアフリー化を推進する。

④事業の優先度の設定

- 重要度や実現性の面から優先順位を設定し、特に大竹駅周辺など、短期的に取り組む事業内容を選択する。また、短期的に実施できない事業内容についても、継続的に調査・計画を進め、より効果的なバリアフリー化を推進していく。

⑤心のバリアフリーの推進

- 高齢者や障がい者などが抱える不自由さを市民一人ひとりが理解し、支え合う精神を育む必要がある。このため、バリアフリーに関する啓発・広報活動・福祉教育など取り組みを通じて、ボランティア意識の向上など、心のバリアフリーを推進する。

4. 重点整備地区の区域設定

【重点整備地区の区域設定の考え方】

【基本的な考え方】

- 一般的に、旅客施設（鉄道駅など）を中心とした徒歩圏域や、高齢者・障がい者等が利用する施設が集まった地区などを「重点整備地区」として定め、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機等のバリアフリー化を面的かつ一体的に推進

【JR大竹駅周辺地区の場合】

- 橋上駅舎化と東西自由通路の設置、さらには東口広場の整備を予定
- 歩行者動線や歩行者交通量が大きく変動していくことが予想

今回

短期

- ・ 重点整備地区を「JR大竹駅及び東西駅前広場、県道接続部」に絞る

中長期

- ・ JR大竹駅周辺における施設整備や道路整備などの土地利用動向、歩行者動線や歩行者交通量の状況等を踏まえ、重点整備地区を拡大

面的かつ一体的なバリアフリー化を推進

4. 重点整備地区の区域設定

【重点整備地区の設定】



5. 移動等円滑化の整備方針

(1) 大竹駅周辺地区の整備方針

- ・ 昇降設備等の施設整備、視覚障がい者誘導用ブロックを連続的な設置
- ・ 駅前広場の整備においては、十分な歩道幅員の確保、段差の解消、休憩施設の設置
- ・ 「バリアフリー新法」や「広島県福祉のまちづくり条例」等への適合
- ・ 公共交通のわかりやすい路線体系への再編
- ・ バリアフリー化された車両への転換

(2) 心のバリアフリーの推進

1) 啓蒙・広報活動の実施

- ・ 高齢者や障害者等に配慮したまちづくりの考え方や、バリアフリーについての情報提供や啓発

2) 福祉教育の実施

- ・ 学校や事業所内などにおける高齢者や障害者等への心遣いや基本的マナーについての教育や啓発

6. 実施すべき特定事業及びその他の事業

【特定事業】

特定事業	事業名	事業者	事業内容	備考
公共交通 特定事業	JR大竹駅	西日本 旅客鉄道(株)	駅構外～改札口～ホームへの昇降設備等の設置	
			ホームと列車乗降口の段差解消	
			駅舎内の視覚障がい者誘導用ブロックの設置	
			階段への手すりの設置	
			多目的トイレの設置	
			情報提供装置(列車出発時刻の案内)の設置	調整中
			文字等による列車近接案内設備の整備 (聴覚障がい者への対応)	
			音声・音響案内装置の設置(視覚障がい者への対応)	
			鉄道車両のバリアフリー化(車いすスペースの確保等)	
			係員呼び出し用インターホンの設置	遠隔センターへ
			バリアフリー化に対応した券売機の設置	
			社員へのバリアフリーに対する教育・訓練及び実践	年1回実施
道路 特定事業	路線バス・ コミュニティバス (都)新町西栄線 (自由通路)	(有)大竹交通	低床バスの導入	
			(有)大竹タクシー	社員へのバリアフリーに対する教育・訓練及び実践
		大竹市	歩道有効幅員の確保	
			歩道の段差・勾配・凹凸の解消 照明、休憩施設の設置検討 視覚障がい者誘導用ブロックの設置	
交通安全 特定事業	西口広場	広島県 公安委員会	前面道路の交通規制・標識の見直し検討(予定)	15

6. 実施すべき特定事業及びその他の事業

【その他の事業】

特定事業	事業名	事業者	事業内容	
その他の事業	東口広場	大竹市	滑りにくく、水はけの良い舗装の整備	
			照明、休憩施設の設置検討	
			視覚障がい者誘導用ブロックの設置	
			タクシー乗り場への上屋の整備	
			案内誘導施設・サインの設置	
			身体障がい者用駐車場の整備	
			身体障がい者用乗降口の整備	
			駐輪場の整備	
			歩行に支障となる自転車・看板・植栽・電柱などの撤去・移設	
	西口広場	大竹市	滑りにくく、水はけの良い舗装の整備	
			照明、休憩施設の設置検討	
			視覚障がい者誘導用ブロックの設置	
			バス停へ休憩施設の整備	
			バス停及びタクシー乗り場への上屋の整備	
			案内誘導施設・サインの設置	
			身体障がい者用駐車場の整備	
			身体障がい者用乗降口の整備	
			歩行に支障となる自転車・看板・植栽・電柱などの撤去・移設	
	ソフト施策	大竹市	(有)大竹交通 (有)大竹タクシー	低床バスに合わせた利用しやすいバス停整備
			大竹市	ホームページ等による情報の共有化 職員・市民のバリアフリーに対する教育訓練